

SOLAN Dream Climbers

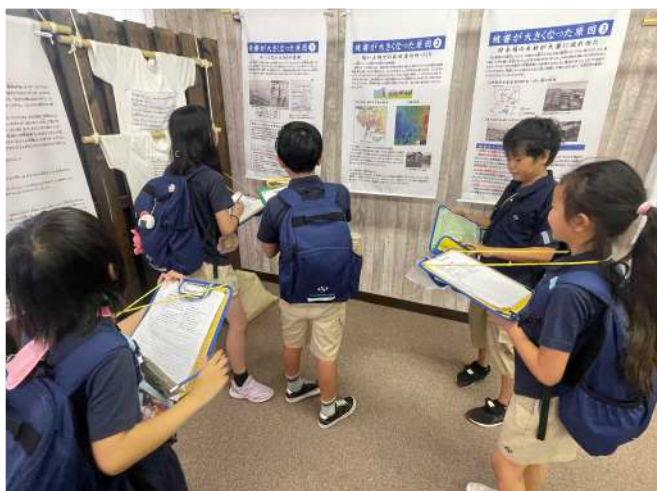
～夢に向かって一歩ずつ～

港防災センターで学んできました

港防災センターへ社会科見学に行ってきました。新聞作りで書く記事ネタを探す情報収集です。名鉄瀬戸線と地下鉄を乗り継ぎ、向かいました。大きな問題もなくスムーズに移動でき、日間賀島宿泊体験で、自分たちの力で目的地を目指した経験がいかされていると感じました。実際、「日間賀島はこれよりもっと長いし大変だったなあ。」と呟く声もありました。



途中、屋内施設で昼食をとりました。おうちの方々が作ってくださった昼食をもりもり食べていました！（お昼ご飯のご協力、本当にありがとうございました。）偶然にも名古屋市内の別の小学校さんすぐ横で食べていたのですが、別れ際にはお互いに手を振っていました。なにやら小さな不思議な友情を芽生えさせていたようです。



さて、今回訪れた施設では、1959年に東海地方を襲った伊勢湾台風のことが詳細に展示されています。子ども達は事前に風水害について調べたい問いを話し合い、この日を迎えました。「伊勢湾台風で街の様子はどうなってしまったのか」「被害がこれほど大きくなった原因は何か」「ここからどんな対策が取ら

れるようになったのか」などの複数の問いを、グループで協力してワークシートに記録しました。3Dシアターも視聴しましたが、実際に5トンもある貯木が民家を押し寄せた映像に、衝撃を受けて心に残った子もいたようです。



また、防災の観点から地震体験もしました。先月の南海トラフ注意報が私たちの暮らしに大きく影響したことも記憶に新しいと思います。東海地方でこれまで起きた様々な種類の地震を、7人1組で体験してきました。「頭を抑えて!」という、両手を重ねて後頭部を守る子がほとんどでした。正解は、片手で首うしろ、もう片方で後頭部を守ります。実際の揺れに触れて学ぶことができ、防災につながる、貴重な経験となりました。

の揺れに触れて学ぶことができ、防災につながる、貴重な経験となりました。

今回得た情報をもとに、「すごい」「つたえたい」と思ったことを分析し、記事に仕上げ、オリジナルの新聞を作成していきたいです。

